

Citation: Nasser M, Fedorowicz Z, Khoshnevisan MH, Shahiri Tabarestani M. Acyclovir for treating primary herpetic gingivostomatitis. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2008, Issue 4. Art. No.: CD006700. DOI: 10.1002/14651858.CD006700.pub2.

CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 25 June 2008.

Clib issue No.; N/U: 2008 issue 4; New

背景: 原発性ヘルペス性歯肉口内炎は頻繁に伝染しやすい口腔感染症であり、典型的には小児でみられるが、大人でも起こりうる。症状は軽度の不快感から致命的脳炎まで大きく異なる。

目的: このレビューの目的は、原発性ヘルペス性歯肉口内炎に対するアシクロビルの全身投与の効果を評価することである。

検索戦略: 以下のデータベースを検索した: Cochrane Oral Health Group's Trials Register(2008年5月22日まで); the Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL)(The Cochrane Library 2008, Issue 2); MEDLINE (1950年から2008年5月22日); EMBASE(1980年から2008年5月22日)。言語に対する制限は設けなかった。

選択基準: 口唇ヘルペスの合併の有無に関わらず原発性ヘルペス性歯肉口内炎と診断された小児または25歳未満の成人において、アシクロビルとプラセボを比較したランダム化比較試験を選択した。

データ収集と分析: 2名のレビュー著者が独立に評価し、そこから情報を抽出し、臨床試験に含まれているバイアスの危険性を評価した。データの統合の際にはCochrane Collaborationの統計ガイドラインに従った。

主な結果: 本レビューには、72名が参加した研究と20名が参加した研究の2つの臨床試験のみが採用された。2番目の研究では方法論についてのいくつかの項目が欠落しており、アウトカム測定の見解に矛盾があった。最初の研究は中程度のバイアスが含まれていたが、6歳未満の小児において、アシクロビル群ではプラセボ群と比較して、治療開始8日後の口腔病変のある人(リスク比(RR)0.10(95%信頼区間(CI)0.02, 0.38))、新たな口腔外病変のある人(RR 0.04(95%CI 0.00, 0.65))、摂食困難のある人(RR 0.14(95%CI 0.03, 0.58))、飲料摂取困難のある人(RR 0.11(95%CI 0.01, 0.83))のそれぞれが減った。

治療開始後、プラセボ群の3人の患者が水分補給の治療のために入院した(P=0.11)。

4人の子供(アシクロビル群2名、プラセボ群2名)が軽度の消化器症状を呈したが、特に治療の変更をすることなく24~48時間後に自然に改善した。

レビューアの結論: このシステマティック・レビューでは2件の関連する試験が見つかったが、そのうちの1つでのみ6歳未満の原発性ヘルペス性歯肉口内炎の小児において、アシクロビルが口腔病変の数を減らし、新たな口腔外病変の発生を予防し、飲食が困難になる人の数や入院を減らす有効な治療法であるという弱いエビデンスが示された。

(翻訳 南郷栄秀・監訳 湯浅秀道; JCOHR)

翻訳公開日: 09年2月20日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。